

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】特開 2005-294495 (P2005-294495A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-041
 【出願番号】特願 2004-106815 (P2004-106815)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 27/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 27/14 D

H 0 4 N 5/335 V

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 12 月 8 日 (2006.12.8)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

外囲構体と、前記外囲構体に形成された凹部に固着された固体撮像素子と、前記外囲構体上に前記凹部を覆うようにして設置された透明平板とを備えた固体撮像装置であって、前記外囲構体上の前記透明平板と面する位置に前記凹部の外縁から外側に向かって複数の溝が設けられ、前記溝に接着剤が充填されて、前記外囲構体と前記透明平板とが前記接着剤を介して接着され、

前記凹部における前記外囲構体の表面は、前記接着剤からなる被膜で覆われ、前記溝に充填された前記接着剤と前記被膜とは、接続されていることを特徴とする固体撮像装置。

【請求項 2】

前記外囲構体の前記凹部表面全体が、前記被膜で覆われている請求項 1 に記載の固体撮像装置。

【請求項 3】

前記接着剤は、紫外線硬化性接着剤である請求項 1 に記載の固体撮像装置。

【請求項 4】

前記固体撮像素子の側面は、前記被膜で覆われている請求項 1 に記載の固体撮像装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の固体撮像装置の製造方法であって、前記固体撮像素子を前記外囲構体に形成された前記凹部に固着させ、前記固体撮像素子の側面と前記外囲構体との間に所定量の前記接着剤を塗布し、前記外囲構体上に前記透明平板を設置し、前記透明平板に一定の押圧力を付加しながら、前記外囲構体を回転させることにより、前記溝に前記接着剤を充填するとともに、前記凹部における前記外囲構体の表面を前記接着剤で覆い、

前記接着剤を硬化させることにより、前記外囲構体と前記透明平板とを接着させるとともに、前記被膜を形成することを特徴とする固体撮像装置の製造方法。

【請求項 6】

前記接着剤は、紫外線硬化性接着剤であり、

前記接着剤の硬化は、前記接着剤に紫外線を照射することにより行う請求項 5 に記載の固体撮像装置の製造方法。